

## GK A級の受講条件の変更について

GK コーチライセンスは、現在、GK C級は毎年6コース（各コース定員30名）、GK B級は毎年1コース（定員30名）、GK A級は2年に1コース（定員30名）で開催している。2004年にGK C級、2005年にGK B級、GK A級を開講し、2013年1月現在のGK コーチライセンス保持者を1054名まで増やすことができた。（表-1）

表-1

C級以上を持っている人中で、GKコーチライセンスを持っている人の割合は**3.3%**

## 指導者登録数（2013年1月4日現在）

S級コーチ	366人	GK
A級コーチ	1,178人	38人
B級コーチ	3,486人	162人
C級コーチ	26,939人	854人
D級コーチ	37,195人	
キッズリーダー任意登録者	918	
<b>合計</b>	<b>69,164人</b>	<b>1,054人</b>

表-2

	GK-C級	GK-B級	GK-A級
2004年	26		
2005年	58	26	14
2006年	85	18	
2007年	168	17	10
2008年	157	20	
2009年	164	21	10
2010年	173	28	
2011年	165	32	4
現在のライセンス保持者	857	162	38

(※GK C級は、資格喪失の為ライセンス取得者と現在の保持者に差がある。)

こうした取り組みにより、GKが資格を持ったGKコーチから、指導を受ける機会を増やせた事は成果である。

現在JFAでは、GKコーチも、サッカーコーチであり、サッカーの原理、原則を学び、サッカー理解を深める事により、より良い指導をすることを目指しGKライセンスの受講を図-1の様に行っている。

C級コーチから順番にGK C級、B級、GK B級、そしてA級、GK A級という受講条件を設けた。

一方でGKコーチがA級を取得する事は非常に難易度が高く、表-2に示す通りGK C、B級は順調に有資格者を増やしているが、隔年開催のGK A級に関しては、開催毎に受講者が減少してしまっている現状がある。

GK A級に対しての受講希望者は多いがA級を取得出来ず、受講資格が得られない為、中々受けられないのが現状である。

現在、AFCのGKコーチライセンスでは、日本のC級にあたるAFCのC級を取得後、下から順番にGKコーチレベル1、2、3と取得することが可能なシステムを取っている。

また、先日、日本で講習会を開いて頂いたスペイン連盟のGKコーチコースでも、レベル1のコーチ資格を取れば、その後はGKコーチのレベル1、2の取得が可能になっている(図-2)。

JFAコースでは、B級までのコーチ資格を取っていることで、基本的なサッカー理解、コーチングの原理原則を身につける事は可能で、GK A級のカリキュラムの中で、GKのより専門性を深めると共に、フルサイズに近いゲーム形式の中でのGK指導も行い、サッカーの全体像を理解しゲームコントロールすることも行う。

こうした要素を含むコースなので、A級を取得せずに、GK A級に望んでも、これまで同様のサッカー理解を身につけて、更にGKの専門性に取り組める指導者の養成は可能であると考えられる。

以上の理由により、GK A級の受講資格、および資格取得の方法を、GK B級までの受講条件は変えずに、GK B級の取得後、GK A級にそのまま進めるように変更を提案する(図-3)。

スペイン連盟指導者ライセンス

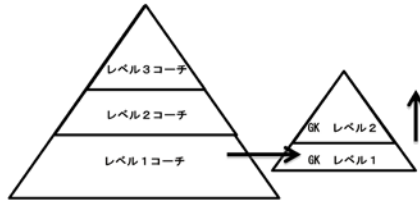


図-2

JFA公認指導者ライセンス(現行)

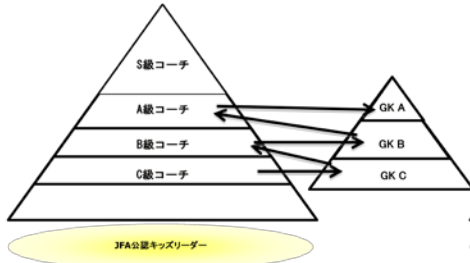


図-1

JFA公認指導者ライセンス(改善案)

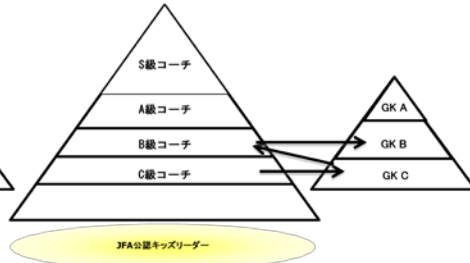


図-3

以上